

授業科目名	公衆衛生看護実習			担当教員	緒方 文子、西村 和美、 上野 満里	
開講年次	4年前期	セメスター	7	時間数(単位数)	225 (5)	
必修選択	選択	授業形態	実習	使用教室		
授業の目的	これまでの学修を踏まえ、地方自治体を中心に、地域における対象（個人・家族・集団・組織・地域）の健康課題をアセスメントし、地域住民の QOL 向上のために行われるヘルスプロモーション活動を学び、地域での看護実践を行う意義を理解するとともに基本的能力を獲得する。					
到達目標	1) 地域の健康課題や強みを把握する方法を修得する。 2) 公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解する。 3) 対象の健康ニーズを捉え、特性に応じた援助方法を修得する。 4) 地域の保健・医療・福祉、その他の関係機関の役割と連携の実態を理解する。 5) 住民の主体的な保健組織活動の実態を学び健康施策への住民の参画の意義を理解する。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は地域における様々な健康レベル、ライフステージにある個もしくは集団に対する看護実践を積極的に体験し、既習の知識と統合させて自己の看護能力及び公衆衛生看護実践能力を発展させることを目的としている。地域の健康課題を解決するために、「チームで働く力」や「問題解決力」を学修する。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	○	○	○	◎	○	
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
	1) 実習期間：225 時間（5 単位） 2019 年 8 月 19 日(月)～9 月 20 日(金) 2) 実習施設 学外の実習施設は、福岡県内の保健福祉環境事務所（保健所）および市区町村（保健センター等）である。 3) 実習配置 別途配布 4) 指導体制 学外実習では実習施設の指導者が教員と連携して指導を行う。 5) 実習の進め方 実習の流れは市町村、保健所によって実習時間等の実習の進め方や留意点等が異なるため実習オリエンテーションで提示する。 実習目標および実習計画に沿って、毎日の行動計画を立案し主体的に学習をすすめる。		以下の課題を事前に実施し実習に臨む ① 実習目標および実習計画を作成する。 ② 実習する保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 ③ 参加する保健事業の事業内容と法的根拠について学習する。 ④ 健康教育の企画立案、指導案、シナリオ案、媒体案を作成する。 ⑤ 実習に必要な知識・技術の復習をする。		18 時間	緒方 西村 上野

先行履修科目	保健師国家試験受験に必要な全ての科目（公衆衛生看護学実習を除く）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	それぞれの政策に関する法律に関連する文献などは各自で検索・収集し、実習に活用する。
評価方法	参加状況および課題レポート(20%)と学習到達度、学習態度、実習記録等についてのルーブリック評価（80%）による総合評価とする。
教員等の実務経験	保健師としての臨床経験のある教員が、実習指導を担当します。
メッセージ	